

《事業計画の内容》

※●は事業概要 ★は具体的な実施内容

① 地域の暮らしを守るための事業

6,051 千円

地域の足の確保検討事業【令和6年度のみ単年度事業として実施予定】

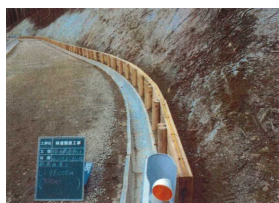
1,051 千円



- 市が運営するSバス「西部線」の令和5年度4月に新たな運行方法となったことに加え、地域が支える公共交通としてSバス「西部線」の地域での認知度や愛着などの向上、また、利用者の増加を図るための取り組みを市に対しお願いすることとします。
- ★千郷地域自治区内のバス停の形状が様々であるため、一目見てSバス「西部線」と認識できるわかりやすいもの（デザイン含む）、尚且つ愛着の持てる統一したものに変更。

林道雁峰線施設管理事業【令和9年度までの継続事業「6ヶ年計画」】

5,000 千円



- 本市として森林施業に必要な道としてのみではなく、多様な目的で利用され重要な役割を担っている林道雁峰線です。良好な施設管理と地域住民による維持管理の負担軽減、更には地域住民の安全・安心を図るため、法面の崩落の危険性があり緊急度の高い箇所を選定し、法面の崩落によって側溝が埋まってしまうよう、計画的に「側溝保護工」を設置します。
- ★R6は起点側から、「杉山区」・「徳定区」内の林道に約400m施工実施予定。

② 地域の安全安心を促すための事業

2,580 千円

AED設置管理普及推進事業【リース契約期間満了まで「別添貸借計画参照」】

1,773 千円



- 公民館や集会施設、また千郷地域内のコンビニエンスストア等へ自動体外式除細動器（AED）を整備し地域住民の安全・安心を図ります。また、あわせて千郷地区防災連絡会や関係機関、関係団体と協力し、地域の方へAEDの適正な取扱い講習を実施します。
- ★AED設置のためのリース費用（16行政区、5店舗）、AED講習会の参加促進。

まちづくりロード形成事業【設置期間中における維持管理費】

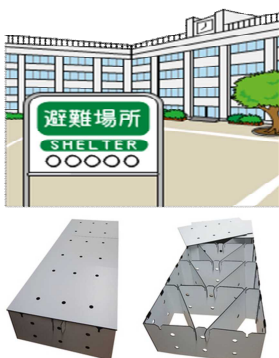
75 千円



- 平成27年度地域自治区予算事業で設置した、地域を跨ぎ、人通りが多い公共空間や主要道路に設置された照明灯の適正な維持管理を次年度も継続的に実施し、地域計画にあるように安心して暮らせるまちを目指し地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図ります。
- ★国道151号線（杉山北交差点～川田跨線橋付近間）計10箇所の照明灯の継続管理。

千郷地区防災施設備品等整備事業【防災資機材等整備計画】※令和6年度で事業完了予定

396 千円



- 千郷地域における市の指定避難所の防災資機材等の計画的な設置及び、各行政区における自主防災会への防災備品の整備を進め有事に備えます。
- ★千郷地区防災連絡会により策定された防災資機材等整備実施計画に基づき、主に市指定避難所4箇所（西部公民館・千郷小体育館・千郷中体育館・千郷西こども園）での使用を想定した各種備品整備を実施します。
- ※防災資機材整備計画に基づきR6は避難所用簡易マット12床（計画数量40床のうちR5に28床整備した残計画数量分）。

地域景観向上事業【令和6年度までの継続事業「5ヶ年計画」】

336千円



●環境美化活動として地域内の各所にプランターを置き、花などの生育管理と同時に、子どもたちの登下校時の見守りにつなげるため「通学路花街道（仮称）」づくりを進め、子どもたちの登下校時の安全確保の強化を図ります。

★本事業の趣旨に賛同いただき、ご協力していただける地域の方々により、R6は実施計画書に基づき前年度からの継続設置も含め約140個のプランター設置。

③ 地域の伝統文化等継承・活性化するための事業

1,993千円

市指定文化財駐車場等整備事業【令和7年度までの継続事業「2ヶ年計画」】

1,993千円



●市指定文化財というだけでなく、千郷地域自治区における重要な史跡として地域住民の認識も大きい「野田城址」について、市内外からの来訪者等に対応するだけでなく、史跡の価値を高め地域の活性化にも繋げる取組みを地域計画に基づき実施します。

★野田城址駐車場(敷砂利)整備及び案内看板等設置(普通車約10台程度駐車可能想定)

④ 地域の活性化を図るための事業

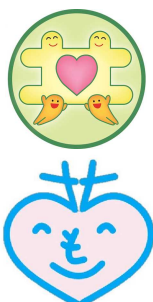
2,418千円

共育推進事業【令和6年度までの継続事業「3ヶ年計画」】

248千円

【共育とは】

※「共に過ごし」、「共に学び」、「共に育つ」の考えから、子ども達のみならず、地域住民が地域活動などを通して、顔と名前がわかるネットワークを広げ、地域の安全を守り活力のある「まちづくり」を進めるための「合い言葉」です!!



「ちさともちゃん」

●新城市の教育理念である「共育」に基づき、千郷地域に共育コーディネーターを配置し、千郷地域在住の得意分野を持っている住民の方を人材として掘り起こしを行い、「CHISATOMO リーダー」として協力を求め、公民館や集会所などで、地域の子どものみならず、地域住民を対象とした「CHISATOMO クラブ」を開催し活発な交流促進を図ります。

★事業実施主体である「千郷地域子育て連絡協議会」に対する補助金として予算措置。

地域集会施設整備費補助金上乗せ補助事業【令和8年度までの継続事業「5ヶ年計画」】

1,780千円



●各行政区の拠点施設の老朽化に伴い、維持管理の負担や公民館活動にも支障をきたしており、更新や修繕等に苦慮していることが課題となっています。このため既存の新城市地域集会施設整備費補助金に、地域自治区予算枠の範囲内において「上乗せ補助」を実施することによって行政区の金銭的な負担軽減を図り、地域住民の様々な活動、また交流の場としての拠点整備推進を図ります。

★R6は「片山・杉山・石田・稲木」公民館への施設整備費補助金の上乗せ補助。

社会教育施設利用促進向上対策事業【令和8年度までの継続事業「3ヶ年計画」】

390千円



●西部公民館では、様々な団体による利用や地域行事、また学校関係も含めた行政による会議や催しなど利用頻度が多く、千郷地域の一番の拠点として地域住民の認識も高い。このため拠点備品整備や魅力ある拠点環境を進め、地域住民が気軽に寄れる環境づくり・こどもの居場所づくりや、地域交流の場として、今まで以上に施設利用の活発化や利用促進に繋がり、地域住民が有効活用のできる施設環境を整えます。

★フリースペースに個別学習コーナーの設置や、魅力的な空間づくり。

(個別学習用カウンター(約5.0m程度)設置、観葉植物設置 他)

(※各事業の事業費については、概算であるため若干の変更が生じる場合もあります。)